

# 議事録

件名：令和元年度第3回さぬき市地域公共交通会議

日時：令和2年1月10日（金）午前10時～11時30分

場所：さぬき市役所3階301会議室

出席者：紀伊会長、佐藤委員（代理出席）、六車委員、白山委員、松本委員、  
頼富委員、村上委員、溝渕委員、木村委員、近藤委員（代理出席）、  
佐々木委員、中野委員、灘井委員、藤本委員、間島委員、宮崎委員、  
元山委員、八木委員、堀委員

事務局：（都市整備課）津田課長、満濃主幹、津村副主幹

傍聴者：1人

配布資料：資料1 新モード（デマンド型乗合交通）に向けた検討結果  
資料2 第3回さぬき市地域公共交通会議説明資料  
参考資料 デマンド登録者アンケート調査結果  
参考資料 高齢者のみなさんの日頃の移動について  
（いきいきネット連絡協議会によるアンケート調査）

---

## 【次第】

### 1 開会

### 2 会長挨拶

### 3 議題

#### （1）デマンド型乗合交通実験運行等の結果について

事務局：資料説明【資料1、参考資料（デマンド登録者アンケート調査結果）】

会長：ありがとうございました。今の説明に関し、ご質問、ご意見いただきたい。

まずは、12月に運行事業者と意見交換会を行ったようだが、ご担当に近いタクシ-事業者に何か感想があれば伺いたい。

- 委員：オペレーターについて、タクシー事業所では（マンパワー不足のため）受け入れがたいという結論であった。
- 委員：（課題の1つとして）各社共同運行による運行エリア決定時の不公平感とあるが、地域のまちづくりでは一体感というのが掲げられるものの、（運行エリアを絞る）難しさがよくわかった。
- 会長：地域によって求めているサービスが異なるため、いろいろなシステムを組み合わせで実施していくことが望ましい。今回の実験を踏まえるとデマンドは難しいと言うことだろう。
- 委員：田面地区では運賃は無料であったが、小田とか他の地区で実験するのか。
- 事務局：田面地区での実験運行などを踏まえ、今回の再編の中では市全体で（デマンドを）導入しないという方針を立てたので、当面実験はしないが継続的に検討していく。
- 委員：アンケートでは（運賃について）300円や500円という意見があったが、障害者や運転免許返納者などは割引することになるのか。
- 事務局：今後、導入する場合に運賃についても検討することとなる。
- 委員：現在のコミュニティバスの運行経費が6,200万円であれば、この金額で市が非常勤の運転手を雇い、直営で運行できるのではないか。
- 事務局：市の方針として、まずは、既存の交通事業者の協力の下で実施していきたいと考えており、運行委託を前提としている。
- 委員：デマンドへの新規参入のみならず、既存のタクシー事業も供給が追いついていない状況のように思う。タクシーの運賃補助制度もあるが、タクシーだけではニーズをまかないきれいていないため、地域では自家用車に頼らざるを得ないだろう。
- 委員：仮に市がドライバーを雇ってもドライバーが生活できないのではないか。生活面で自立していけるようでないといけない。
- 会長：今の意見は交通だけでは解決できないだろう。まちのつくりかたを考えないと難しいだろう。今回のデマンド型乗合タクシーは短期的に導入が困難と判断したが、今後検討していかないといけない。
- 委員：受付を委託するのはなかなか難しいだろうが、受付事務員も最初は大変だが経験を積めば解決するのではないか。
- 委員：市内全ての地域で一律のサービスは難しいだろう。
- 会長：デマンドに限らずコミュニティバスに関連する課題でもあるため、引き続き検討してほしい。配車についても今後の技術の進展にも期待したいと思う。
- 委員：車両はジャンボタクシー以外も考えた方が良さそう。
- 委員：環境から見てもCO2を排出しない異なる方法があるのではないかと思う。
- 会長：状況に応じた交通手段を考えていくこともさらに必要だと思う。

会 長：以上で議題 1 については事務局の提案をお認めいただいたということで議題 1 を終わりにしたい。

## (2) さぬき市コミュニティバス新路線素案について

事 務 局：資料説明【資料 2、参考資料（いきいきネット連絡協議会によるアンケート調査）】

会 長：ありがとうございました。

お手元のルート素案については、今後、実際の走行に向けて調整されていくのが一般的ですので、本日は、その根幹となる「さぬき市の公共交通の将来像」と、当面の目標であるコミュニティバスの再編の目的や新ルート素案の概要について、本会議としての考え方を整えたいと思う。ご質問、ご意見いただきたい。

委 員：地区別の具体的な買物先などの整理が必要である。

事 務 局：地区別にアンケート結果をまとめており、ルート素案に反映させている。地区別結果を改めて提示させていただく。

会 長：基本的には生活を支える二次交通の役割を担うことであり福祉的な側面もあるが、受益者負担の適正化もあわせて考える方針かと思う。

委 員：交通事業者ヒアリング結果において、観光路線の縮小とはどのようなことか。

事 務 局：コミュニティバスは生活の足を重視した方が良いという意味である。

委 員：山間部については自家用有償運送も必要かもしれない。社会福祉協議会は関係しているのか。

委 員：今、地域づくりの検討をしているので、そのようなことも視野に入れて検討する必要があると感じている。

会 長：公共交通だけで対応するのは難しいエリアもあるため、今後引き続き（自家用有償運送についても）検討する必要がある。他に意見がなければ、議題 2 については事務局の提案をお認めいただいたということで次に移りたい。

事務局は、今日の意見を今後の作業に活かしていただければと思う。

## (3) 今後のスケジュールについて

事 務 局：本日の意見を踏まえ今後ブラッシュアップの作業を行い、3月から4月に次回会議開催の相談をしたい。近くなったら正式に案内する予定である。

## 4 事務連絡

## 5 閉会